

2020 雪山入門セミナーオプション山行 残雪の奥美濃 能郷白山

2020年 3月21日~22日

<参加メンバー> 10人(男性7人、女性3人)

<天候> 3/21 晴れ 3/22 曇り後雨

< コースタイム >

3月21日

06:40 宝塚及び川西市出発 (自家用車3台)
11:00 能郷谷 駐車場出発 (標高400m)
12:30 登山口 (標高700m) 13:30 標高1000m 地点
14:30 標高1220m地点 15:30 標高1400m地点
16:00 前山到着 テント設営 (標高1520m)

3月22日

05:40 前山 テント出発 (軽荷)
7:00-7:20 能郷白山山頂 (標高1620m) 7:40-8:00 山頂のすぐ下で、滑落停止訓練
9:30-10:00 前山着 テント撤収
12:50 登山口 (途中で休憩2回) 14:00 駐車場到着
帰路にうすずみ温泉にて入浴、食事の後、午後4時頃に大阪に向けて出発

< 山行の概要 >

2020 雪山入門セミナーのオプション山行として実施した。会員9人、一般1人の参加で若干寂しい。暖冬で積雪量が心配だとの声も聞こえたが、奥美濃のこの山域で雪がなければ超異常である。予想どおり雪は少ないながらも十分に雪山を楽しめた。

予定では頂上でテント泊の予定であったが、前山止まりとなった。到着時間が遅くなり、予定していた実技のスノーマウント造りや防風ブロックづくりはできなかった。しかし、この場所はロケーションが良く、周りの景色も楽しめて初めてこの山に来たメンバーも雪山テント山行を楽しめたのではないと思う。

頂上からは白山や荒島岳などは視界の関係で見えなかったが、奥美濃の綺麗な山々を遠望することができた。できれば今後もこのような奥美濃の山々を継続して登ってほしい。



1. 能郷谷林道のゲートから100m程手前のスペースに車を止め、出発準備をする。



2. 緩い勾配の林道を進む。前方の山奥に白く見えるのが能郷白山



3. 登山口に到着 登山口の位置は 1/25000 地形図と違って



4. 登山口からすぐのところの沢を徒渉する。徒渉がちょっと苦手なメンバーが若干名



5. いきなり急登が続く 雪は全くなし



6. 高度 1000mを越した辺りからようやく雪が出てきた



7. 誰が名付けたのか「お迎えブナ」が私たちを迎えてくれた



8. 1200mを越した辺りから積雪量が多くなり、来て良かった~ の思いが増す



9. 本日の幕営地となった前山の1450m地点に到着



10. テントを張るため圧雪するためのいつものラインダンス？を全員で楽しむ
バックに見えるのは能郷白山



11. ようやくテント設営完了 みんな随分疲れた様子 スノーマウント造りは無しで、そそくさとテントの中へ



12. 防風ブロックもどきの目隠しを作ってトイレが完成



13. 夕日が綺麗だった



14. テントの中では早速、雪を溶かして水づくり



15. 日が暮れて雪の上のテント3張り。なんか幻想的



16. 食事を終え、一つのテントに10人が集り、就寝までの僅かな時間の宴？これが楽しいんや！



17. 3/22早朝、能郷白山のピークハント目指して準備をする



18. 雪の尾根を進む



19. その2 例年なら灌木類は雪に埋まって、真っ白な雪上を歩くのだが...



20. 頂上直下は徐々に傾斜がきつくなってくる



21. 傾斜のきついところを一列で登る



22. ようやく能郷白山頂上に到着 この写真で麓の「うすずみ温泉」の料金が割引となる



23. カメラマン以外全員集合 頂上から奥美濃の綺麗な山々がよく見えた



24. テント場まで戻り、テントを撤収して下山の準備をする



25. 下山を開始する



26. 雪のなくなった急坂を慎重に下る この頃から雨が降り出す。



27. 魔の徒渉地点まで戻ってきた。ひやひやしながら飛び石伝いに渡る



28. 登山口へ無事下山。この後、雨の中の林道をひた歩いて車まで戻り、今回の山行は終了した